

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號五第 卷二十三第

行發日一月五年六和昭

論叢

人稅物稅の分界並に特徴 法學博士 神戶 正雄
 人口密度と經濟生活 經濟學博士 沙見 三郎
 數學的經濟學の論理的構造の批判 文學博士 米田庄太郎

說苑

米の生産地と消費地との對立 經濟學士 谷口 吉彦
 信用と資本 經濟學士 中谷 實
 國勢調査に於ける人口の概念 經濟學士 岡崎 文規

雜錄

都市公企業の財政的意味 經濟學士 大谷 政敬
 植民的活動に於ける政治的支配に就いて 經濟學士 金持 一郎
 歴史哲學に就いて 經濟學士 竹中 靖一
 ルドウエルの『綜合經濟學』概念 經濟學士 桑原 晋
 ・ムウアの

法令

地租法・營業收益稅法中改正法律・砂糖消費稅法中改正法律・織物消費稅法中改正法律

附錄

新着外國經濟雜誌主要論題

人口密度と經濟生活

沙 見 三 郎

第一 人口密度の諸研究

人口の靜態統計に關する研究は我國に於ては從來殆んど閑却せられてゐたのであるが、大正九年十月一日に第一回の國勢調査が行はれて以來、大正十四年、昭和五年に第二回、第三回の國勢調査が繰り返されたる結果として、急速の進歩を遂げたのである。我國は全體として幾何の人口を數へてゐるか、その地方的分布は如何、年齢別、男女別はどうか等の問題は、過去三回の國勢調査の材料を基礎として始めて之を明かにし得るのである。茲には専ら我國の人口の密度の問題を扱ひたいのである。

過去三回の國勢調査の結果を比較するに、郡部の人口の割合が減じ都市人口の割合が漸次増しつつある事が明かとなるのである。従つて大都市の屬する府縣の人口は益々稠密を加へつつあるに拘らず、然らざる地方に於ては人口の密度に殆んど變動なきか、例外的の場合ではあるが返つ

て密度が粗になりつつある事實も見受けられるのである。かの小野學士の人口密度に關する勞作¹⁾は専ら大正九年の國勢調査の結果を基礎としたものであるが、大正十四年と昭和五年との國勢調査の結果を参考に供すると、過去十年間に更に異りたる人口密度の姿を發見し得るのである。人口の密度に何故かくの如き變動を生ずるか、我國の社會生活を研究するに當り注目すべき問題である。

人口の密度を支配するものとして種々の原因をあげる事が出来る。統計學者の中には、此等の原因を自然的原因と社會的原因との二つに分つてゐるものがある。²⁾地形、氣温、雨量、濕度、土壤の性質等より見て人の生活に適當なる場所には人口が密度高く、然らざる場所には人口が稀薄であると云ふ現象は、自然的原因の影響する場合である。領土の變更、國籍の變更等が住居に影響し國境の存在が移住を制限するが如きは、社會的原因の中の政治的原因の作用する場合である。然れども社會生活に於て經濟生活が特に重要となると共に、此等の自然的原因及び政治的原因よりも寧ろ經濟的原因の方が人の住居を決定するに當り最も重要な要素となつたのである。自然的には恵まれざる土地にありても、人の努力により富源が開發せらるれば多數の人口を吸収し得るのである。又政治的に如何に人口を移動せしめんとするも、富源乏しき時には人口が自ら稀薄ならざるを得ないのである。茲に人口の密度を研究するに當り、經濟的要素を考慮に入れね

1) 石橋博士監修、小野學士編、大日本帝國郡市別人口密度圖、大日本帝國郡市別人口密度表

2) Mayo-Smith, Statistics and Sociology Book IV.

ばならぬのである。然らば、我國の人口密度に影響を及ぼす經濟的要素として如何なるものを選びべきかの問題を明かにせねばならない。

人口の密度は土地と人口との關係を示してゐる數字なるが故に、人口の密度と關連して研究すべき經濟的要素も矢張り土地に關係あるものを選びねばならぬ。或地方の經濟力を反影するものとして種々の統計數字が用ひられてゐる。例へば直接國稅納稅額、第三種所得金額、酒類消費高、煙草消費高、銀行預金、土地賃貸價格等の種々のものが考へ得られるのである。此等の數字を單獨に用ひ又は此等の數字を組合せて綜合指數を作り、以て各地方の經濟力を比較する事が出来るのである。然れども此等の數字の多くは必ずしも各地方の經濟力を如實に反影するものではなく、種々の誤謬を含むものである。此等の吟味は暫く之を措き、茲には一地方の經濟力を反影するものとして専ら土地賃貸價格のみを研究し、土地賃貸價格を通じて經濟生活と人口密度との關係を明かにしたいのである。

第二 土地賃貸價格の調査

今議會に於て地租條例が廢止せられ新地租法が制定せられし直接の影響として、都會地の地租が増すと共に地方の地租が輕減せられる事となつたのである。これ地租の課稅標準が從來は地價

なりしを、之を改めて貸賃價格にせし結果である。地價が土地の財産價格を示すに反し土地貸賃價格なるものは土地の収益を示すものであるから、土地貸賃價格により地方の動的の經濟力を窺ふ事が出来るのである。

土地の貸賃價格調査は、大藏省主稅局の「土地貸賃價格調査事業報告書」に説明が加へられてゐるが如く、土地貸賃價格調査法（大正十五年三月法律第四五號）、土地貸賃價格調査手續（大正十五年五月一日主稅第二二號主稅局長通牒）、土地貸賃價格調査委員會法（昭和二年三月法律第十六號）、土地貸賃價格調査委員會法施行規則（昭和二年六月十五日大藏省令第十八號）を根據として行はれ、約千百萬圓の國費を用ひ大正十五年四月に着手して以來約一ヶ年半にて之を完成したのである。茲に注意すべきは、土地貸賃價格と云ふのは「貸主が公課修繕費其他土地の維持に必要なる經費を負擔する條件を以て之を貸賃する場合に於て貸主の收得すべき金額」をさし、而して貸賃價格を「大正十五年四月一日現在」に調査した事である。その結果として大正十五年四月一日現在に於ける我國の有租地全部の収益が明かにせられたのであるから、我國に於ては人口の國勢調査の外に土地の収益の國勢調査が完成してゐる譯である。故に土地貸賃價格の調査なるものは我が經濟統計の研究に關する貴重なる資料と云はねばならぬ。勿論、土地貸賃價格調査の目的は地租の課稅標準を變更せんとする財政的目的に出で、租稅改革の前提として行はれたのであるが、其の副産物として土地の収益

の國勢調査が完成したのは意外の獲物と云はねばならぬ。

我國の土地賃貸價格を田、畑、宅地、鹽田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野、雜種地と云ふ風に地目別に分つと、第一表を得る事が出来る。³⁾

第一表 土地賃貸價格地目別表

地目	面積	賃貸價格 (千円)	平均賃貸價格 (円)
田	二、九七三、四一三町	八三八、二七八	二八・五六三
畑	二、七六〇、一三一町	二一五、五六七	七八・五七
宅地	一、二三七、〇五五町	六二八、九四五	〇・五〇八
鹽田	五、八〇六町	二、七二六	四七・〇九三
鑛泉地	一、三三三町	三八二	九七・六六四
池沼	一二、九〇一町	三三一	二・五七三
山林	八、四七九、三七四町	四一、四八二	〇・四八九
牧場	一三二、四三五町	二〇一	〇・一五二
原野	一、五三八、五三三町	四、五三六	〇・二九五
雜種地	一六、〇〇五町	二、二六四	一四・一四九
計	一六、三三〇、九五八町	一、七三四、七一九	

第一表は日本全國の土地賃貸價格の總額であるが、更に其面積を地目別に道府縣別に分類すると第二表を得る事が出来る。

3) 大藏省主稅局、土地賃貸價格調査事業報告書

第二表 有租地面積地目別表(單位町)

宅地	鹽田	鑛泉地	池沼	山林	牧場	原野	雜種地	總計
14,622	—	0.00	137	40,867	—	5,764	111	117,293
8,545	17.63	0.05	87	74,114	640	21,899	390	181,250
16,121	—	—	380	70,894	—	8,680	76	261,581
16,162	125.92	—	925	127,612	1,854	22,833	626	360,816
4,422	—	0.02	34	54,516	—	14,080	157	135,570
11,926	—	0.01	118	183,787	8,123	19,533	243	357,719
18,097	—	0.01	586	163,749	1,466	21,345	1,096	425,417
9,955	—	0.27	302	123,521	3,676	30,684	69	283,658
9,369	—	0.00	209	25,701	—	1,447	148	103,940
7,093	—	—	562	130,087	—	1,458	84	203,424
12,395	899.14	0.03	75	394,485	—	11,033	260	559,142
3,333	—	0.00	16	137,747	—	1,015	1	186,137
3,866	2.48	0.02	32	268,508	—	1,442	76	323,122
6,178	—	—	295	112,526	—	8,538	96	203,231
4,481	1.97	0.00	82	111,490	11	2,559	97	180,873
5,328	103.68	0.06	197	81,328	—	3,063	241	172,778
6,101	—	0.05	126	51,847	—	3,175	144	157,928
4,859	894.76	0.00	53	77,404	—	204	74	154,477
4,766	478.20	—	164	164,575	—	1,297	204	234,772
3,493	68.76	—	201	258,878	—	2,106	100	388,420
8,154	—	0.03	45	838,874	93,119	244,375	4,672	1,576,488
9,593	74.73	0.09	506	174,672	751	11,720	12	330,875
10,081	1.18	0.02	61	443,559	1,815	112,627	56	710,275
11,269	4.61	0.16	214	304,280	32	39,055	44	543,931
8,638	0.05	0.01	30	103,200	—	100,320	66	531,190
7,395	—	0.17	11	109,706	8,536	84,914	425	333,198
8,849	—	0.06	96	183,048	—	27,867	55	354,629
16,985	212.29	—	1,705	104,288	—	5,599	902	287,184
11,390	14.35	0.10	322	278,718	298	70,609	643	499,794
8,055	—	0.00	568	243,984	—	4,077	740	360,719
8,457	—	0.10	956	427,768	—	7,660	61	561,051
12,386	—	0.19	84	243,650	4,494	180,170	62	621,744
15,501	52.60	0.20	2,007	252,139	13	14,109	731	535,572
8,574	551.04	0.02	66	420,042	10	2,595	334	544,448
8,620	953.96	0.01	292	235,654	—	3,100	291	362,642
9,010	497.75	0.14	139	260,858	—	4,082	34	400,170
3,221	—	0.08	19	74,877	181	59,823	190	187,569
5,267	—	0.05	125	366,487	15	1,630	294	467,333
6,153	320.12	—	169	220,135	207	674	158	339,190
10,122	0.24	0.11	180	70,518	—	57,567	69	320,511
13,113	181.68	0.10	258	70,114	84	48,091	587	295,363
6,692	159.31	1.43	123	64,909	—	64,432	443	235,414
6,054	12.21	0.00	37	68,174	49	28,551	328	194,649
4,538	0.12	0.01	128	39,338	—	41,178	60	157,421
12,780	73.97	0.61	111	89,812	1,211	76,234	156	399,964
6,317	1.06	0.02	14	69,199	31	37,744	45	223,794
4,006	102.68	—	31	62,711	5,965	27,551	229	164,270
412,351	5,806.62	4.09	12,901	8,479,374	132,435	1,538,533	16,005	16,330,958

地目	田	畑	
東京管内	京川	14,649	41,141
	奈川	24,092	51,463
	玉葉	67,744	97,683
	梨木	105,768	84,906
	山橋	19,918	42,440
	茨群	69,845	64,138
大阪管内	阪都	54,168	12,894
	庫良	45,980	18,157
	山賀	111,926	28,066
	井川	33,694	10,328
	山川	33,633	15,560
	島知	64,495	11,101
	大京	48,489	13,658
	兵奈	55,196	27,318
	和歌	80,809	15,723
	滋福	39,977	11,009
札幌管内	石富	28,665	34,620
	香徳高	36,427	87,143
仙臺管内	城手	89,054	44,488
	島田	55,049	87,019
	森形	99,084	89,949
	秋山	105,990	32,942
	青山	64,585	57,573
名古屋管内	知岡	91,841	42,870
	重野	94,373	63,116
	早野	64,101	73,695
	野湯	74,608	28,684
廣島管内	島口	66,988	49,157
	山取	78,291	102,603
	根媛	176,518	74,498
	島愛	76,840	35,431
	島媛	81,435	32,293
熊本管内	本岡	88,694	36,853
	分崎	33,649	15,605
	賀島	56,812	36,700
	鹿宮	48,320	63,259
	宮沖	75,531	106,521
	兒島	117,320	45,610
全 國	熊本	56,408	42,243
	大長	33,627	57,814
	佐賀	52,687	19,488
	鹿宮	59,651	159,932
宮沖	44,818	65,623	
繩	8,151	55,520	
全 國	2,973,413	2,760,131	

第二表の示すが如く地方により、田、畑、宅地、鹽田、鑛泉地、池沼、山林、牧場、原野、雜種地の面積に廣狹の別が存してゐるのである。従て、各地方の土地賃貸價格も土地の内容如何により變動せざるを得ないのである。更に項を改めて土地賃貸價格の地方別研究を施さねばならぬ。

第三 人口密度と平均土地賃貸價格との關係

人口の國勢調査の結果と土地賃貸價格の國勢調査の結果との間に如何なる關係が存してゐるだらうか、此問題を明かにする爲めに、先づ最近の國勢調査たる昭和五年十月一日の結果により一方軒當り人口數を各府縣につき算定し而して各府縣の人口密度が平均人口密度に對し如何なる割合にあるかを指數で示す事とした。第三表がこれである。⁴⁾

4) 内閣統計局、昭和五年國勢調査速報

あるかを指数で示したのである、次の如くである。

第四表 地方別平均土地賃貸價格表

	有租地 面積(方軒)	土地賃貸 價格(千圓)	一方軒に付 土地賃貸價格	
			平均土地賃 貸價格(圓)	指 數
府縣	1,163	180,428	155,108	997
川	1,797	38,146	21,221	136
奈	2,594	41,550	16,016	103
玉	3,578	46,106	12,884	83
葉	1,344	13,147	9,778	63
梨	3,547	34,080	9,607	62
木	4,219	45,894	10,877	70
城	2,813	27,978	9,945	64
馬	1,030	108,498	105,255	675
阪	2,017	41,569	20,604	133
都	5,545	79,636	14,361	92
庫	1,845	16,303	8,926	57
良	3,204	18,017	5,622	36
山	2,015	26,048	12,923	83
歌	1,793	18,870	10,521	67
賀	1,713	22,506	13,718	88
井	1,566	27,369	17,474	112
川	1,333	20,387	15,285	98
山	2,328	17,873	7,676	50
島	3,852	16,584	4,305	28
知	15,634	25,887	1,655	16
海	3,281	30,027	9,150	59
城	7,044	19,988	2,837	18
手	5,894	38,003	7,044	45
島	3,482	31,942	9,171	59
田	3,304	19,722	5,968	38
森	3,516	34,979	9,945	64
形	2,848	72,595	25,488	163
知	4,956	38,978	7,863	51
岡	3,577	32,795	9,167	59
重	5,564	32,966	5,924	38
阜	6,166	42,947	6,965	72
野	5,311	64,298	12,105	78
湯	5,399	40,931	7,580	49
島	3,596	33,924	9,432	61
口	3,968	41,544	10,468	67
山	1,860	13,913	7,479	48
取	4,634	22,050	4,757	35
根	3,363	26,679	7,931	51
媛	3,178	40,163	12,635	81
本	2,928	60,582	20,684	133
岡	2,334	26,381	11,299	72
分	1,930	21,728	11,255	72
崎	1,561	23,518	15,064	97
賀	3,966	33,200	8,369	54
島	2,219	18,479	8,325	53
崎	1,629	4,488	2,754	18
繩				

第三表と第四表とを組合して一方軒當りを人口密度と平均土地賃賃價格とを比較すると興味の
ある結果を得る事が出来るのである。人口密度と平均土地賃賃價格との兩者に付き各府縣別に大
小の順序に並べ、第五表を得たのである。單に順序だけの比較では真相を誤る虞れがあるので人
口密度にも平均土地賃賃價格にも各府縣別に指數をそへておく事にした。

第五表 地方別平均土地賃賃價格表

人口密度		平均土地賃賃價格	
府縣名	指數	府縣名	指數
京阪川岡知川玉都庫崎葉省城緋岡重媛島馬口山本山川木山島賀島良城鴻井分梨取野形阜根島知崎森田手道	850	京阪知川岡都山玉川賀庫川賀葉本鴻分崎城井山形馬梨木口田重城良島崎媛岡島鳥取島野森阜山根知手繩道	997
奈	662	奈	675
東大神福愛香埼京兵長千佐茨沖靜三愛廣群山富熊岡石栃和德滋鹿奈宮新福大山鳥長山岐島福高宮青秋岩北	234	東大愛神福京富埼香佐兵石滋千熊新大長茨福岡山群山栃山秋三宮奈鹿宮愛靜德廣島福長青岐和島高岩沖北	163
歌	174	歌	136
兒	172	海	133
	134		133
	130		112
	114		103
	108		98
	101		97
	98		92
	96		88
	83		83
	82		83
	73		81
	69		78
	69		72
	68		72
	63		70
	63		67
	62		64
	62		64
	62		63
	61		62
	60		61
	60		59
	59		59
	58		59
	58		57
	54		54
	53		53
	52		51
	52		51
	51		50
	48		49
	48		48
	43		45
	39		45
	38		38
	38		38
	38		38
	34		36
	33		35
	31		28
	29		18
	22		18
	11		16

の順序
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47

第五表を調べてみると第一に平均土地賃貸價格と人口の密度との大小の順序が大體に於て一致するのを發見出来るのである。順序が全部合致してゐるものに東京、大阪、栃木、奈良、北海道の五地方あり、一つだけ狂つてゐるものに神奈川、福岡、埼玉、鳥取、岩手の五地方あり、二つだけ狂つてゐるものに愛知、京都、兵庫、佐賀、岡山、鹿兒島、宮城、長野、岐阜の九地方あり、三つだけ狂つてゐるものに香川、千葉、島根、福島の四地方があり、此等を合計すると四十七地方中、實に二十三地方に達するのである。勿論、沖縄、愛媛、静岡、廣島の如き人口稠密にして、平均土地賃貸價格の小なるものあり、又、富山、新潟の如き人口密度稀薄にして、而も平均土地賃貸價格の高きものもあるが、此等は例外である。更に、平均土地賃貸價格の指數を比較するに両者が大體に於て同様の數字を示してゐるのを知る事が出来る。

大小の順序が大體一致し、更に指數により大小の程度が大體一致してゐるとせば、人口密度と土地賃貸價格との間には、かなり密接なる關係が存在してゐると云はねばならぬないのである。

第四 人口密度と經濟生活

大藏省調査の土地賃貸價格が各地方の經濟力を反影し、又統計局調査の國勢調査が人口密度を如實に示すものとせば、前述の數字は非常に興味ある事實を示すものと云はねばならぬ。平均賃貸價格の指數と人口密度の指數とが大體に於て等しき地方に於ては、人口の密度が適當に構成せられ、人口密度の指數が平均土地賃貸價格の指數に比し、より大なる地方は人口過剩にして、より小なる地方は人口過少なりと云はねばならぬ。然れども此等二種の數字より大膽なる結論に到達するには次の三つの難點を解決せねばならぬ。

人口側について云へば統計局の國勢調査は、只今まで發表せられてゐる範圍に於ては深夜の靜止状態を示すに止まり、經濟活動の行はるゝ晝間の人口は明らかになつてゐないのである。その結果として東京市の丸ノ内とか、大阪市の中ノ島の如きは國勢調査は反つて人口稀薄として示され郊外の住宅地が人口稠密となつて現はれる場合もある。更に人口密度を測定するに當り、分母となるべき面積中には、經濟生活に比較的關係薄きものを含んでゐる場合がある。例へば茨城縣、滋賀縣、秋田縣、島根縣、福島縣の如き湖水の面積を分母中に含むが故に、人口が實際以上に稀薄となつてゐる例が之である。

土地賃貸價格側に於ても、此種の不都合の存するを免れない。即ち有租地のみを問題にしてゐるから、免租地が經濟生活に重要な意義を有してゐる地方では平均土地賃貸價格は其地方の眞

の經濟力を反影し難いのである。又、經濟生活が土地の面積と比較的沒交渉に行はれてゐる地方に於ても同様である。

最後に人口密度と平均土地賃貸價格との兩者に共通した難點として、兩者の算定の地域的單位を府縣に求めた事である。我國の府縣の區劃なるものは行政的便宜に出で必ずしも自然的及び社會的條件と一致しないのである。故に土地と人との關係を統計的に研究する爲には更に行政區劃と離れた新しき地域を單位とせねばならない。尙、各都市別に兩者の關係を比較する事は興味ある事實であるが、現今の如く、接續町村の大都市編入が盛んに行はれ、或都市の如き農地面積の方が宅地面積よりも大なりと云ふ奇觀を呈せる場合に於ては困難なる問題である。

此等の諸點を考慮すると人口密度と平均土地賃貸價格との比較よりして無條件に人口密度と經濟生活との關係に斷案を下す事は困難であらう。然れども人口密度と平均土地賃貸價格とが我國に於て大體同じ方向を走りつつとある事實は、人口密度と經濟生活とを比較するに當り見のがし難き現象である。